

～水稲・野菜・苗物生産と作業受託で大規模経営を実践～  
工藤清志・陽司さん親子（西条市）

[所属・役職等]

農業指導士

清志さん：1952年生まれ、陽司さん：1984年生まれ



☆経営概況☆

平成4年に(有)クドウグリーンテックを設立し、家族3人と従業員7人で水稲約16ha、たまねぎ約14haを栽培しているほか、野菜苗約50万鉢、花苗約10万鉢を生産販売するとともに、地域特産野菜（絹かわなす）の育苗の受託、水稲の収穫及び乾燥調整作業等を受託する等地域の農業にも貢献しています。また、海外から農業研修生を継続的に受け入れており、先導的農業者の育成への協力や国際的な相互理解の増進にも寄与しています。

平成26年からは、農業法人と企業が共同で低コスト生産技術確立などを旨とする「先端モデル農業確立実証事業」に、「サンライズ先端農業コンソーシアム」の一員として農作業時間の把握の自動化等簡単に「農業の見える化」を目指す取り組みを行っています。

また、現在、清志さんは農業指導士としても活躍しています。

☆ここがポイント☆

清志さんは、2年間の派米研修の後22歳で就農しました。父親が露地及び施設野菜中心の経営を行っていましたが、作業受託を含めた米麦栽培の拡大及び野菜苗・花苗の生産販売等に取り組み、規模拡大と経営多角化に取り組んできました。

陽司さんは、県外で就職していましたが、家業である農業にも関心を持っており、22歳で帰郷し、就農しました。父清志さんと農作業を共に実践しながら農業技術を習得しました。現在は経理等の責任者として経営に携わるとともに、販売部門担当として活躍しています。

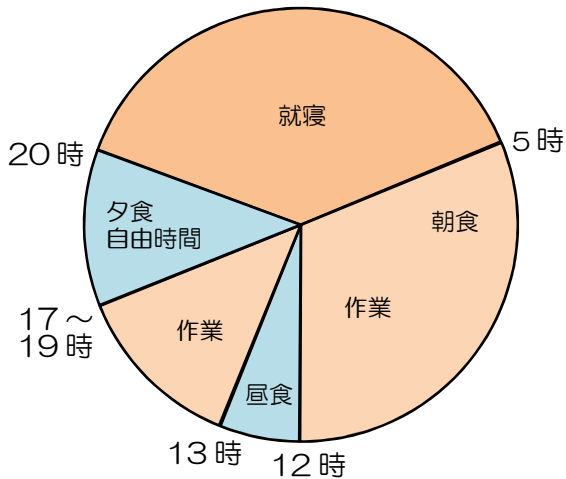


花苗（ハボタン）の育苗圃場



たまねぎ栽培圃場と「先端農業コンソーシアム」の取組みに基づくカラーコード（圃場毎設置）

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

水稲、野菜及び苗物等栽培品目が多いことから、多忙な時期が多いですが、楽しく農業をしています。

清志さんは派米研修の経験から海外に関心があり、定期的に海外旅行に行っているほか、家族旅行等で余暇を満喫しています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	水稲収穫及び野菜苗・花苗物の栽培管理及び出荷等					
【通常期】	露地野菜・苗物の栽培管理等（時間的にやや余裕あり）					



自走式防除機による薬剤散布（水稲）



J A西条たまねぎ現地研修において  
自らの栽培について説明

☆これからの夢や目指すもの☆

露地野菜の栽培面積拡大と機械化体系の推進により、経営規模の拡大と省力化を目指し、販路拡大に取り組み有利販売を図ります。

また、地域社会と農業の発展に寄与することを目指し、頑張っ参ります。

☆メッセージ☆

農業は一つ一つの積み重ねが大切です。継続して取り組むことにより成果が出てくるものです。魅力ある職業である農業を始めてみませんか。